

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	岩手雪まつり事業		事業コード	1559
担当課等	所属名	商工観光部 観光課	担当係名	
	課長名	村山悦男	担当者名	菊池 史仁
			電話番号	3726

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光交流の推進	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 まつり・イベント振興事業 (004-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 昭和40年度～)					
事務事業の概要	<p>小岩井農場を会場として開催される「いわて雪まつり」の雪像のうち、当市制作分の雪像について制作を委託するもの。また、岩手の冬季観光の開発と振興を図り、健全なレクリエーションの場を提供することを目的とする「いわて雪まつり」の開催経費の一部を負担するもの。</p>					
根拠法令等	なし。					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>冬季観光の場を提供することにより、市民に健全なレクリエーションの場を提供するとともに、観光振興の観点から「いわて雪まつり」の実施を通して、盛岡広域への観光客誘致を図ろうとした。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>この事業を含みまつり・イベント全体として議会、市民から各種行事の一層の振興及び宣伝活動の充実が求められている。</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
<ul style="list-style-type: none"> ・余暇時間の拡大や高齢者の増加などにより、グリーンツーリズムなどの体験型観光や、個性的で特色のある都市を対象とした都市型観光などが注目されている。 ・訪日外国人の増大を図るための戦略的業務として国土交通省が「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を展開している。 ・新幹線延伸等交通網整備による観光客誘致の一層の促進。 						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民、観光客	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 観光客入込数 B. 盛岡市民 C.	単位 単位 単位	万人回 千人 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>22年度実績(22年度に行った主な活動)</p> <p>当市製作分の雪像について小岩井農牧場に製作委託契約を行ない、また、岩手雪まつり実行委員会にいわて雪まつりに係る負担金を交付するが、それらを通じて当該行事の実施を図るとともに、広報、ホームページ等で周知宣伝を図る。</p> <p>23年度計画(23年度に計画している主な活動)</p> <p>当市製作分の雪像について小岩井農牧場に製作委託契約を行ない、また、岩手雪まつり実行委員会にいわて雪まつりに係る負担金を交付するが、それらを通じて当該行事の実施を図るとともに、広報、ホームページ等で周知宣伝を図る。</p>	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 周知宣伝する媒体数 B. 当市製作の雪像数 C. 全体雪像作成数	単位 単位 単位	誌等 基 基
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	岩手の冬季観光の開発と振興をはかり、市民に健全なレクリエーションの場を提供するとともに、観光客を誘致する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 観光客入込数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 B. 雪まつり入場者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位 単位 単位	万人回 千人 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	観光客などの交流人口を増加させる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	観光客入込み数(単位:万人回)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	観光客入込数	万人回	472	458	460	444	472	478	24年度 478
対象 指標B	盛岡市民	千人	298	300	300	300	300	300	24年度 300
対象 指標C									年度
活動 指標A	周知宣伝する媒体数	誌等	3	4	4	4	4	4	24年度 4
活動 指標B	当市製作の雪像数	基	1	1	1	1	1	1	24年度 1
活動 指標C	全体雪像作成数	基	16	16	16	16	16	16	24年度 16
成果 指標A	観光客入込数	万人回	472	459	460	444	472	478	24年度 478
成果 指標B	雪まつり入場者数	千人	231	280	300	285	300	300	24年度 300
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	900	900	900				*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	900	900	900	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	900	900	900				*****
	延べ業務時間数	時間	48	48	48				*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	192	192	192	0	0	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,092	1,092	1,092	0	0	0	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 祭り・イベントでの誘客は、盛岡市への観光客入込みの重要な部分を占めている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 冬を代表するイベントとして、市の観光振興及び事業効果が多方面に波及するため。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民への健全な行楽の場の提供と観光客誘致を兼ねているため。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 現状の意図で成果を向上すべきものであるため。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 広告宣伝をさらに効果的に行うことにより、観光客増に結びつける余地がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 盛岡広域を代表する冬の集客イベントであるため、観光客数減少が見込まれる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 近年経費削減しており、これ以上の削減は事業内容の低下を招く恐れがある。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: イベントの実施については実行委員会が行い、当課では負担金交付事務、雪像製作委託契約事務、周知宣伝等必要最小限の業務のみを行っているため、現在発生している人件費はほぼ最低限であると考えられるため。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: イベント開催時期が冬季に限定されること及びイベント開催場所は不特定多数が入り出できる場所であるため。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 来場者から当該イベントの参加料(入場料)、観覧料等を徴収する方法がある。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 観光客による経費の一部負担(入場料等徴収)を導入した場合、事業収入の増加により更に良い雪像の製作や、より内容の充実した雪まつり行事を開催できる余地があり、また、それにより観光客増となる可能性がある。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 観光客による経費の一部負担を実施した場合に、それに見合う魅力を作り出さなければならず、また、スキー客の減少傾向が続いている現状に照らせば観光客減も懸念されており、実施には相当の検討を要する。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>観光客の入込みが落ち込む冬季において、集客力のある観光イベントとして知られているが、さらなる集客力の拡大を図るため、PR方法や事業拡大のための収入確保等が課題である。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>事業の効果的なPRに努め、集客力向上を図るとともに、事業拡大のための事業収入の確保について検討する。</p>														